

みんなで
まちづくりをすすめるための
みちしるべ(案)
(簡易版)

豊明市

contents

| | |
|-------------------------------------|---|
| <u>1 協働の時代がやってきました</u> | 1 |
| ゆたかに暮らせる地域をつくるため..... | 2 |
| 市民が主役のまちづくりのために..... | 2 |
| <u>2 ずっと守りたいまちの宝 区・町内会</u> | 3 |
| 区・町内会は豊明の宝 | 3 |
| わたしたちの区・町内会だから | 3 |
| <u>3 まちを豊かにするあたらしい活動</u> | 4 |
| あたらしいサービスの担い手 | 4 |
| いきいきとした市民活動はまちの希望..... | 4 |
| <u>4 みんなの力でつくり上げる協働のまち 豊明</u> | 5 |
| 協働のまちづくりは豊明をこう変えていきます。 | 5 |
| 心から満足できるまちに | 5 |
| 魅力たっぷりのまちに | 5 |
| 市民が輝くまちに | 5 |
| <u>5 協働のまちづくりをすすめるために</u> | 6 |
| 行政は市民主体のまちづくりを積極的に応援します | 6 |
| 私たちみな考え、実践していかなければならないことです | 7 |



1 協働の時代がやってきました

協働とは、

わたしたち(市民と行政)みんなで力をあわせてまちづくりをすることです。

まちづくりとは、

このふるさと豊明を、何年たっても変わらず、自然豊かなまち、子どもを
生み育てやすいまち、犯罪のない安全なまち、年老いても安心して暮らせる
まちにしていくことです。

そのためには、

それぞれの市民や団体や行政が、それぞれの得意とする分野で力を出し合
い、お互いを支えあうことが大切になってきました。

ゆたかに暮らせる地域をつくるため

わたしたち一人ひとりが暮らしの中でかかえている課題や、求めている豊かなまちの理想の姿はいろいろです。

たくさんの課題を解決し、希望を実現していくためには、市民と行政みんなの力を合わせるが必要になってきました。

市民が主役のまちづくりのために

まちのことを一番よく知っているのは、ここに住んでいるわたしたち市民です。さまざまな課題についてわたしたち市民が主役になって考え、取り組んでいくことで、本当に満足できるまちづくりができます。

協働の時代がやってきたのです。

2 ずっと守りたいまちの宝 区・町内会

区・町内会は豊明の宝

わたしたちの住む区や町内会は、お互いを思いやり、声を掛け合い、支えあうことのできる、あたたかい地域づくりの基本です。

これまでも、これからも区や町内会は、協働のまちづくりを進めるうえで、最も大切な組織です。

わたしたちは、これら先代から受け継いできた、まちづくりの基礎となる貴重な宝を、これからもずっと大切に守っていきます。

わたしたちの区・町内会だから

ごみの分別収集のルールを守ることや、地域の清掃への参加、防犯防災などの助け合いは、私たちが地域で生活していくため、とても大切なことです。これらは、地域自治の基本である区・町内会が入っていてこそ、成し得ることです。

それゆえに、わたしたちみんなが加入し、また、活動に積極的に参加します。

3 まちを豊かにするあたらしい活動

あたらしいサービスの担い手

近年、福祉をはじめ、教育や環境、防犯など、市民に身近な分野で活動する市民活動団体（NPO）の活躍が注目されています。こうした団体の活動は、行政や企業と並ぶあたらしい公共サービスの担い手として期待されるまでになりました。

いきいきとした市民活動はまちの希望

わたしたちの豊明でも、さまざま知恵や技術、経験などを持った市民が経験を生かして、福祉や環境、生涯学習や防災などさまざまな分野で自主的な市民活動がみられるようになってきました。

これらの活動は、受ける市民に喜びと、担う市民に生きがいとやりがいを与えてくれます。

それゆえに、わたしたちは、生き生きとした市民活動がたくさん行なわれるまちにしていきたいです。

4 みんなの力でつくり上げる協働のまち 豊明

協働のまちづくりは豊明をこう変えていきます。

心から満足できるまちに

まちが抱える地域課題に対応した幅広いサービスが市内に生まれ、満足度の高いまちになります。

魅力たっぷりのまちに

自分たちのまちは自分たちが作るというふるさと意識や自治意識が生まれ、ほかのどこにもない魅力あるまちづくりができます

市民が輝くまちに

まちづくりを担っていくことは、「地域に必要とされ、期待されている」といった、やりがいや充実感をもたらし、あたらしい生きがいにつながります。

5 協働のまちづくりをすすめるために

まちづくりはわたしたち市民が主役であることを基本にして、市民と行政がともに地域の問題や、まちの将来について考えていくことが大切です。

行政は市民主体のまちづくりを積極的に応援します

特色ある地域づくりを行なっている区や町内会、きめ細かく、柔軟ですばやい対応ができる市民活動団体などの活動をいっそう活発にし、協働してまちづくりを行なっていくために、行政は市民が主体的に行うまちづくりについて理解し、情報やノウハウやその他必要なものを積極的に提供します。またまちづくりに関する相談に誠意を持って対応します。

私たちみな考え、実践していかなければならないことです

わたしたちのまちには、多くの歴史と文化があり、継承し続けている豊明らしさにあふれています。

こうした先代から受け継いできた、まちづくりの取り組みをいかしながら、ここに住むすべての人が元気に、そして誇りのもてる、活力にみちたまちを後世に引き継いでいくためには、わたしたち(市民と市)が責任を担い合い、一緒になって汗をかき、ともにまちづくりをすすめていかなければなりません。

今までも、そしてこれからも、地域の問題から社会の問題まで、わたしたち(市民と市)は一体となって、このみちしるべに基づき、地域の課題を、お互いに気づきあい、話し合い、ともに協力しながら協働のまちづくりに積極的に取り組んでいきます。